



結 yui

2020. 1. 18 No.91

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005

つくば市天久保 1-10-12 1-401

TEL/Fax 029-858-2034



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

新年おめでとうございます

2020年、あの敗戦から75年目になる年。この間、日本は平和憲法の下、一人の人も戦争によって殺し殺されることのない“戦後”を歩んできました。その意味を、紛争や武力衝突の続く世界へ力強く発信していく年にしていきたいと思えます。「9条を持つ日本国憲法を次の世代に引き継ぐ」(憲法フェス2019 in 茨城のアピールより) 努力を続けていきましょう。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「次の世代」を担う若者の力に期待します。香港の学生たちは、「僕らの世代が動かないと、香港は消える」という危機感を持って行動を続けています。16歳のグレタ・トゥンベリさんは、大人が犯してきた過ちに真直に異議を申し立てています。日本でも、大学入試改革の問題性に抗議し見送りに追いやった高校生の力がありました。

新春の歌はじめとして、高校生たちが創った短歌 ~ 現実に向き合う感性と知力 ~ をお届けします。

国語の授業で、高二の冬に生活短歌を詠む。大学受験を一年後に控え、揺れのある時期である。

まず、物事を観る視点、言葉の選び方、そして五七五七七の韻律に慣れるために、俵万智の『サラダ記念日』からいくつかの歌を紹介する。

「寒いね」と話しかければ 「寒いね」と答える人のいる 暖かさ

会話が巧みに歌に取り入れられるのが俵万智。

青春と いう字を書いて 横線の多いことのみ なぜか気になる

気づくことの大切さ。観る目の鋭さ。ありのままの表現。

子ども思いも、率直に詠まれる。親は子を 育ててきたと 言うけれど

勝手に赤い 畑のトマト

自分たちも創ってみる。

好きなこと やらせてきたと 親は言う

選んだことは 一度もないのに

俵万智への返歌になっている。

高校生は、学校生活にも厳しい目を向けている。

言いたいこと 言わせてくれない 先生が

どうしてわかる 深い問題

世の中に ついて教わり この学校

何事も 力が人を 征すことなり

字余りどころか句余りになるほど、強い思いが迸る。

心の中 ガラクタだらけ なんだけど

いらぬガラクタ ひとつもないよ 非行とは キュウリについた 傷じゃない 曲がったカッコ(通志)と 小さなトゲだ 横線の多い気持ちを支え合えるのが友だちだ。

猫を介しての贈答歌がある。

お日様に 当たって寝ている 猫が好き

価値がなくても 幸せだから

猫が好き 価値がないなんて 言わないで

その存在で 私は幸せ

成績や能力など一定の「価値」で評価される苦しさを詠む前者に、後者は「存在」すること自体の意味を伝える。

受験が近づき苦しい時、みんなが口ずさんだ歌。

受験とは 大きな壁だと 考えず

大きな扉と 考えようよ

「壁」は一人で挑むもののようだが、「扉」が開けばみんなが通れる。「みんなだ」という思いは、『大きなカブ』の物語を連想させる。

社会派の歌もある。

核戦争 すべてがゼロに なったとき

はじめに「0」を見つけるのは誰

赤信号 みんなで渡れば 怖くない

でもその前に 右左見て

ただのパロディーかと思つたら、社会風刺の歌だという。上の句は、同調的・翼賛的な現代の風潮への憂慮。でも、そうやって暴走すれば、未来を生きる道はない。だから今、一人一人の冷静な判断を、という下の句だぞうだ。…深い。(後藤)



2020年、安倍改憲を左右する総選挙も近し!

九条の会茨城県連絡会

代表 田村武夫 (茨城大学名誉教授)

安倍首相は1日付の年頭所感で、「国のかたちに関わる大きな改革を進める。その先にあるのが憲法改正だ」と主張。年頭所感で改憲に直接言及するのは2014年以来。その大きな改革には、世代間分断・対立を基調とする「全世代型社会保障制度改革」(高齢者給付の大幅削減)や、安全保障法制(戦争法)の本格発動＝自衛隊海外派兵や日米軍一体化、などが想定されている。

だが、改憲時間も切迫している。安倍首相は、総裁任期の来る2021年9月までに憲法改正の発議と国民投票を目指すとして表明している。任期内に国民投票を行うのであれば、遅くとも2021年前半の通常国会での改正発議、できれば2020年中に発議に目処を付け投票準備＝改正キャンペーンに集中したいところだ。

そもそも、昨年秋の臨時国会で成立を予定していた、憲法改正の前提としての国民投票法改正が野党共闘により挫折。与党・安倍政権の改憲スケジュールは乱れ焦りがでている。

年明け通常国会で国民投票法改正をといきたいが、予算審議が最優先されるため、憲法改正案の審議に使える時間は限られる。7月には東京都知事選が予定されているため、会期延長も難しい。秋の臨時国会では改憲案審議に十分な時間が確保できない。このような状況から、安倍首相の任期中の憲法改正は難しくなったとの見方も出ている。

しかし、政権の求心力を保ち、レームダック(死に体)化を避けるために、安倍首相は今後も憲法改正を主張し続けるであろう。

年内必至の衆議院解散・総選挙が改憲動向を決する。もし通常国会で憲法改正の議論が行き詰まったら、「国民の信を問う」として解散に踏み切る可能性もなくはない。

有権者が投票場に行き野党候補者に投票してくれる魅力ある政策とその実現への信頼を確保するために、現議員や候補予定者を市民の中に引き出すこと、政治家を自分たちの代表だと思ってくれる仕組みを工夫することが鍵となるのではないか。



沖縄のこころの象徴 首里城 再建へのカンパを

2019年10月31日、那覇市首里の世界遺産「首里城」で火災が発生し、正殿など6殿が焼失、貴重な文化財も多くが失われました。沖縄の独自の歴史を象徴する「首里城」は、沖縄戦で壊滅し、1992年に復元され、2000年には世界遺産に登録されました。

全国でも再建に向けての募金活動が広がっていますが、私たちも下記口座で皆さんのカンパを呼びかけます。振込用紙の通信欄には「首里城カンパ」と明記してください。2020年2月末を目処に、ご協力をお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座記号：00110-1 口座番号：361535

加入者名：つくば市平和委員会 通信欄：首里城カンパ

皆様のご協力をお願いいたします。(つくば市平和委員会・事務局・荒井)



2020年1月から「改憲発議に反対する全国緊急署名」がスタートしました。同封の署名用紙に記入して送って下さい。ご協力よろしくお願ひします。

「憲法9条の会つくば」の活動から

- ◆賛同人 2020年1月13日 総数 1005名 (市内 721名)
- ◆3000万署名 累計数 4500筆
- ◆改憲発議反対緊急署名 1月15日 現在 58筆

新春
スタンディング

▼1月3日、賑やかなイーアス西側交差点で、新春のスタンディングを行いました。参加者は9人。大型プラスターや横断幕で晴れやかに。初参加の賛同人の姿がありました。自転車を止めて署名に応じてくれた青年、カンパをしてくれたご夫婦など嬉しい出会いもありました。(H)



つくば市成人の
つどい 2020

▼つくば市主催の成人のつどい2020が1月12日(日)11:00~12:00に、つくばカピオで開催されました。今年の新成人数は、茨城県全体で2万9695人(前年度比243人増)、つくば市は2720人(44人減)、県内で最も多いとのことでした。

今年も、9条の会つくばは「成人おめでとう」チラシを入れたティッシュを作成、これを新成人に渡しながらか「成人になった記念に安倍9条改憲NO!に署名を」と呼び掛けました。署名参加者は6人、頂いた署名は32筆でした。配布したティッシュは約300個、チラシによる改憲反対アピールが新成人に届けられました。



おめでとうはずの成人のつどいなのに、今年も交通規制と厳しい警備でピリピリした空気がみなぎっていました。和やかな雰囲気でも成人のつどいが開けるよう、工夫が必要ではないかと思ひます。(O)

12・8
不戦のつどい

▼12・8不戦のつどい学習会が12月6日18:30から並木交流センターで開催されました。

川嶋均氏(東京藝術大学非常勤講師)による『表現の自由』が奪われた時代を生きてー北海道・生活凶画事件と私たちの今」と題しての講演でした。生活凶画事件とは、戦前の北海道で、日々の生活をありのままに描く「生活凶画」の美術教育を進めた教師やその教え子たちが、治安維持法違反容疑で捕えられ、極寒の獄中生活を強いられたという事件です。生活凶画教育の中心にいた熊田満佐吾氏など逮捕者は27名にも及んだそうです。

たくさんの方々に応援頂き「誰がために憲法はある」映画上映会を終えることができました。ありがとうございます。今回の映画会ではつながり、一体感を軸に構成させて頂きました。ウエルカム歌声で一緒に歌い、映画を見て共鳴、そして監督さんの話で共感と共存を確認する構成です。

会場に来ていた人の声です。

- ・感動! 途中何回か涙が止まりませんでした。
- ・胸打つ内容でした。最後の憲法条文がみにしみます。
- ・軽い気持ちで観に来ました。憲法について深く考えたこともなく過ごしてきました。考えを深める良い機会になりました。

など 映画が素晴らしいとたくさんの感動の声が寄せられています。

そして監督トークで 会場に来ていた人がさらに盛り上がりました。

- ・映画だけでなく、監督さんの話がすごく良かった。無自覚な自主規制、本当に多いと思ひます。立ち向かっていこう。そのためにも多くの人とつながりたい。
- ・熱のこもったトークに心を打たれました。
- ・井上さんの真剣な話 胸に届きました。

など、会場が監督への熱い思いに一体化しました。監督も会場の一体感に心あつくなり熱弁でした。「これから上映会を企画します」という声も聞くことができました。入場者数は、友人に誘われ知人を通して前売りチケットを購入した方が270人くらい、チラシを見て来たという当日チケット販売が50枚もありました! 9条つくばのニュース「結」、生協、公民館、新婦人などに入れさせて頂きました。改めてチラシの威力は素晴らしいと思ひました。そして本当にありがとうございました。(つくば共に文化を育てる会 萬波厚子)



誰がために
憲法はある

渡辺美佐子
高田敏江 寺田路恵 大原まゆみ 岩本多代 日色ともよ
長内美那子 柳川慶子 山口果穂 大橋芳枝

監修 井上洋一 「誰がために憲法はある」監製 井上洋一 監製 井上洋一 監製 井上洋一 監製 井上洋一
制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一
制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一 制作 井上洋一

1 新聞記者ドキュメント

(2019年/森達也・監督/113分)



◆ 官邸とメディア

東京新聞社会部記者・望月衣塑子の活動に密着したドキュメンタリー映画である。

何度も映し出されるのが、菅義偉・内閣官房長官の記者会見場面。質問を重ねる望月に対する官房長官の“令和おじさん”とは別の困惑と苛立ちの表情に、カメラはアップで迫る。その背後に、上村報道官の「質問に入ってください〜い」「簡潔にお願いしま〜す」という人を喰ったような声が数秒おきに入る。望月への“質問妨害”は、「納得できる答えをいただけていないので繰り返します」と言う姿勢を嫌う露骨なものだ。菅長官は「あなたに答える必要はありません」と言い放つ。

会見の主催者は記者の側のはずなのに、運営も司会も“官邸”が仕切る。政治部の記者たちが集まるメディアの側も、“同調圧力”の強いムラ社会のようである。望月は浮かされる。

◆ 権力の私物化、横暴

社会部の望月が官邸の記者会見に出るようになったのは、首相に近いジャーナリストの準強姦容疑での逮捕状の執行が取りやめになった問題からだという。

“官邸”に近い人間が道理もなく守られるという構図は、逆の場合は、不都合な相手を不条理に攻撃する“権力”の標的にされるということである。

森友学園の籠池夫妻は、安倍の掌返して見せしめ逮捕される。読売やフジは、大ウソの報道をばらまく。“総理のご意向”で動いた加計問題では、「あったことをなかったとは言えない」と発言した前川喜平は、記者会見

の直前、読売に出会い系バー通いを記事にされた。前川は「アベ政権は、国民はバカだとタカをくくっている」と看破する。

辺野古反対の人々は、警備会社によって顔写真を撮られ、一覧にされる。防衛局の依頼だったと追及されても、菅は記者会見で木で鼻をくくったように否定する。質問を続ける望月は、「事実無根のナンクセ」とレットルを貼られ、執拗な脅迫も受ける。

「日本会議」は、権力を批判する新聞を「読むな」「潰せ」と恫喝する。

◆ 隠蔽・ウソ・改ざん、そして忖度

モリ・カケ問題で露呈した政権の体質は、すべての問題に及ぶ。

辺野古の土砂投入の強行は、「サンゴを移植した」と言う安倍首相のフェイクにはじまり、碎石の赤土の割合も県に対する防衛省の約束が守られていないことは現場を見れば一目瞭然なのに、国は認めない。

宮古島の自衛隊駐屯地でも、燃料基地に隣接する弾薬庫の存在は、住民説明会では隠されていた。

沖縄の県民投票の結果を報じる各メディアの扱いの違いも大きい。NHKは、「投票した人の72%が反対」ではなく「投票に行かなかった人も含めて37%が反対」と報じた。

◆ i = 「一人称、私」

映画は、権力を監視する役割を弱めているメディアの現状を追及する。ただ、おかしいのは官邸、官僚、メディアだけなのか。

一人称である「私」は、集団に飲み込まれずに生きているのか、声を発しているのか——映画はそのことを問うている。(後藤)

インフォメーション

◆ 1月19日(日) 14:00~16:30 平和のバトンをつなぐ会(戦争体験者と若者が語る)牛久中央生涯学習センター 大講座室 *参加費 100円

◆ 2月8日(土) 14:00~16:30 研・学9条の会「講演と対話のつどい」講師 岩井孝さん「福島第一原発廃炉作業の問題と東海第二原発再稼働の危険性について」つくばイノベーションプラザ大会議室(今回同封チラシ参照) *資料代 300円

◆ 2月11日(火・祝) 10:30~14:30 午前講演「キリスト教と天皇制」木村庸五弁護士(日弁連憲法委員会元委員)午後関係団体のアピール つくば学園教会

◆ 3月11日(水) 11:30~13:00 「さよなら原発・守ろう憲法3・11集会」(仮題)センタービル広場、または中央公園付近(場所未定)

行動予定	
1月19日(日)	12:00~13:00 定例署名 アルス前
2月3日(月)	13:00~13:30 アベ政治を許さないスタンディング つくば駅A3出口(その後13:30~14:30署名)
2月9日(日)	12:00~13:00 9の日署名 アルス前
2月15日(土)	10:00~12:30 事務局会 市活予定
2月16日(日)	12:00~13:00 定例署名 アルス前
3月3日(火)	13:00~13:30 アベ政治を許さないスタンディング つくば駅A3出口(その後13:30~14:30署名)
3月9日(月)	12:00~13:00 9の日署名 センタービル付近
3月11日(水)	11:30~13:00 場所未定 3・11集会
3月15日(日)	12:00~13:00 定例署名 アルス前
3月21日(土)	13:30~15:30 世話人会 並木交流センター